

「平成22年度 海外先進港視察事業」実施報告

平成22年10月27日～30日に、今年4月以降、5航路52便が増便となっている韓国に、次世代の人材育成を目的に港運事業者の協力を得て、若年世代を中心とした官民一体の視察団を派遣し、北九州港のポートセールスと最新物流情報の収集等を行いました。

- 1 日 時 平成22年10月27日（水）北九州空港発
平成22年10月30日（土）門司区西海岸国際フェリーターミナル着
- 2 参加者数 中崎 剛理事（北九州市港湾空港局営業・計画担当）以下24名
港運会社、船舶代理店、船会社、港湾管理者など17社・団体で構成

3 視察先

（1）船社訪問

- ①天敬海運 平成21年北九州港コンテナ船社別貨物量ランキング4位
- ②グランドフェリー 北九州港・門司／釜山間に週6便の国際フェリーを就航
- ③長錦商船 太刀浦CTとひびきCTに寄港
- ④陽海海運 今年7月航路開設。11月から週1便の配船を週2便体制に強化
- ⑤興亜海運 昭和55年3月に航路開設した老舗の韓国船社、RORO船の投入を検討

（2）港湾視察

①仁川港

- ・仁川港物流団地（FINE通商物流基地、国際物流倉庫）
- ・仁川港湾公社

②釜山港

- ・ルノーサムスン自動車釜山工場
- ・釜山新港物流団地（CFS倉庫、アジア物流ハブ基地）
- ・釜山港湾公社（韓進海運ターミナル）



ルノーサムスン釜山工場視察



釜山新港の韓進海運のバース

5 お問い合わせ先

北九州港航路集貨対策委員会事務局（港湾空港局港営部物流振興課）

担当：佐伯、滝

TEL：093-321-5941 FAX：093-321-5936